



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 富士ダイス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6167 URL <https://www.fujidie.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西嶋 守男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長 (氏名) 春田 善和 (TEL) 03-3759-7182
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,510	△19.9	△55	—	△74	—	△72	—
2020年3月期第1四半期	4,379	△3.7	198	△48.1	247	△33.9	172	△32.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △189百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 189百万円(△1.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△3.63	—
2020年3月期第1四半期	8.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	23,404	18,300	78.2
2020年3月期	24,815	18,969	76.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 18,300百万円 2020年3月期 18,969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で、期末配当予想をあわせて開示いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点において合理的に算出することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の合理的な算出が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	20,000,000株	2020年3月期	20,000,000株
2021年3月期1Q	36株	2020年3月期	36株
2021年3月期1Q	19,999,964株	2020年3月期1Q	19,999,964株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年4月に緊急事態宣言が発令され、経済活動等の自粛が広く要請されたことから、景気の急速な悪化が続く厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後は経済活動等が再開されつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の終息時期や国内外の経済に与える影響は不透明であり、先行きは予断を許さない状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは「挑戦」を年度方針に掲げ、高品質・低コスト・短納期・充実したサービスの向上に努めてまいりました。また、2018年度(2019年3月期)から、3ヵ年を対象期間とした中期経営計画を策定しており、中期経営計画の3年目となる2020年度(2021年3月期)も、更なる企業価値の向上に向けて、1. 成長力・収益力の強化、2. 顧客ニーズの変化への柔軟な対応、3. 海外展開、4. 新製品開発、新技術開発の諸施策に取り組んでおります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、営業員によるお客様への訪問自粛や展示会等の中止により、十分な営業活動を行えない厳しい状況が続いております。

超硬製工具類では、海外向けの溝付ロールや溝付プラグの販売が堅調に推移したものの、超高压発生用工具や熱間圧延ロールの販売が市況の変化等により低調となり、売上高は1,029百万円(前年同期比16.0%減)となりました。

超硬製金型類では、前年度特需の反動減で光学素子成形用金型の販売が低調となりました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界的な自動車需要の落ち込みに伴う自動車関連の市況悪化の影響を受け、自動車部品生産用金型の販売が低調となり、売上高は887百万円(前年同期比28.3%減)となりました。

その他の超硬製品では、海外向けのレンズ金型販売に注力した結果、一部製品の販売が増加したものの、自動車関連の市況悪化の影響により、自動車部品生産用金型の超硬金型素材の販売が低調となりました。また、スマートフォン部品生産用の超硬金型素材の販売も低調となった結果、売上高は785百万円(前年同期比18.4%減)となりました。

超硬以外の製品では、引抜鋼管の販売が低調に推移したことに加え、自動車関連の市況悪化の影響により、鋼製の自動車部品生産用金型の販売も低調となり、売上高は806百万円(前年同期比15.3%減)となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,510百万円(前年同期比19.9%減)となりました。利益につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響等で売上高が減少したことにより、営業損失は55百万円(前年同期は営業利益198百万円)、経常損失は74百万円(前年同期は経常利益247百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は72百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益172百万円)となりました。

なお、当社グループは耐摩耗工具関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、23,404百万円(前連結会計年度末24,815百万円)となり、1,410百万円減少いたしました。流動資産は12,456百万円(前連結会計年度末13,619百万円)となり、1,163百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が600百万円減少、現金及び預金が549百万円減少したことによるものであります。また、固定資産は10,948百万円(前連結会計年度末11,195百万円)となり、247百万円減少いたしました。これは主に、機械装置及び運搬具(純額)が125百万円減少、建物及び構築物(純額)が121百万円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債の部は、5,104百万円(前連結会計年度末5,845百万円)となり、741百万円減少いたしました。流動負債は3,374百万円(前連結会計年度末4,115百万円)となり、740百万円減少いたしました。これは主に、未払金が252百万円減少、未払費用が225百万円減少、未払法人税等が217百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は1,729百万円(前連結会計年度末1,730百万円)となり、0百万円減少いたしました。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は、18,300百万円(前連結会計年度末18,969百万円)となり、669百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が剰余金の配当により479百万円減少、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により72百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点において合理的に算出することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の合理的な算出が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,153	4,604
受取手形及び売掛金	3,282	2,681
電子記録債権	1,063	1,032
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	209	239
仕掛品	1,437	1,378
原材料及び貯蔵品	1,242	1,275
その他	232	247
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	13,619	12,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,225	4,104
機械装置及び運搬具（純額）	2,951	2,826
工具、器具及び備品（純額）	291	266
土地	2,702	2,673
建設仮勘定	35	37
有形固定資産合計	10,207	9,907
無形固定資産		
その他	121	124
無形固定資産合計	121	124
投資その他の資産		
投資有価証券	232	257
長期貸付金	14	14
繰延税金資産	593	613
その他	25	31
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	866	916
固定資産合計	11,195	10,948
資産合計	24,815	23,404

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,045	1,845
短期借入金	30	25
1年内返済予定の長期借入金	12	10
リース債務	17	19
未払金	758	506
未払費用	634	409
未払法人税等	241	23
賞与引当金	247	334
役員賞与引当金	15	—
その他	113	199
流動負債合計	4,115	3,374
固定負債		
長期借入金	2	—
リース債務	26	23
繰延税金負債	1	4
役員退職慰労引当金	1	1
退職給付に係る負債	1,695	1,698
その他	2	2
固定負債合計	1,730	1,729
負債合計	5,845	5,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	164	164
利益剰余金	18,621	18,068
自己株式	△0	△0
株主資本合計	18,785	18,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	46
為替換算調整勘定	221	80
退職給付に係る調整累計額	△62	△58
その他の包括利益累計額合計	184	67
純資産合計	18,969	18,300
負債純資産合計	24,815	23,404

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	4,379	3,510
売上原価	3,402	2,849
売上総利益	977	660
販売費及び一般管理費	779	715
営業利益又は営業損失(△)	198	△55
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	6	1
受取賃貸料	6	5
補助金収入	29	3
雇用調整助成金	—	6
その他	5	2
営業外収益合計	50	21
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	—	39
寄付金	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	1	41
経常利益又は経常損失(△)	247	△74
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	0
減損損失	4	7
特別損失合計	4	7
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	242	△82
法人税等	69	△9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	172	△72
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	172	△72

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	172	△72
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	20
為替換算調整勘定	35	△141
退職給付に係る調整額	4	3
その他の包括利益合計	16	△116
四半期包括利益	189	△189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189	△189
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。